

考古学情報の再現可能性

~バージョン管理システムGitを

利用した調査データの管理と公開~

北海道厚沢部町 石井淳平

お話させていただく内容

- 考古学情報の**真正性**と**再現可能性**
- 考古学情報のオープンデータ化
- **GitHub**利用によるデータ共有の実践
例

媒体論ではない

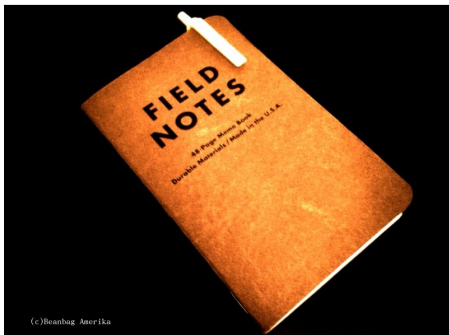


(c)Gilles de Sait

文化庁の立場

「（印刷物は）刊行後の改変が困難であるため、情報の真正性が確保できる」（文化庁2017『埋蔵文化財保護行政におけるデジタル技術の導入について2』（報告）,p12）

情報処理プロセスの透明性



(c)Banshog Amerika

考古学情報の「真正性」

- 考古学情報の**価値**は真正性によって評価される
- そのためには考古学情報の作成に使用された情報源が**信頼できる度合い**が評価されなければならない
- どのような**プロセス**で**考古学情報**が**作成されたのか**に関する情報が真正性の評価には必須である

考古学情報作成プロセス

- どのような調査記録が選択されたのか
- どのような処理がなされたのか

改変可能性を減らすこと

再現可能性を高めること

情報

事実，事象，事物，過程，着想などの対象物に関して知り得たことであって，概念を含み，一定の文脈中で特定の意味をもつもの。

データ

情報の表現であって，伝達，解釈又は処理に適するように形式化され，再度情報として解釈できるもの。

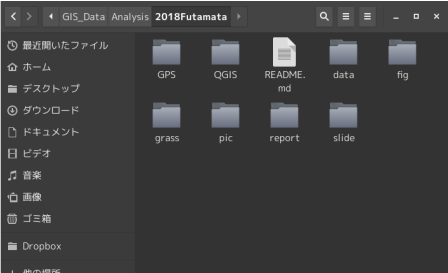
GITHUB



GITHUB

- 変更履歴を保存
- 消去・改変されたデータも保存
- ウェブで共有

GITとディレクトリ



二股台場調査でのGIT利用

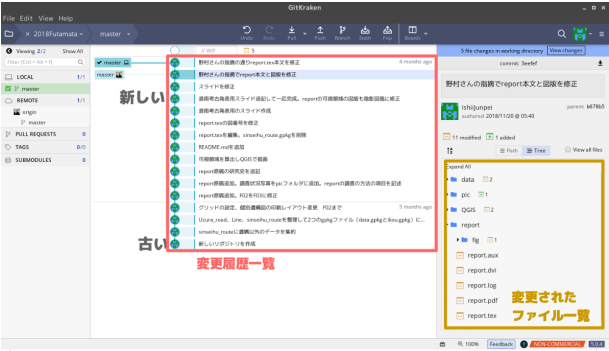
- 遠隔地で整理作業
- 複数人で調査記録の編集

調査記録の公正性の確保と作業重複の回避

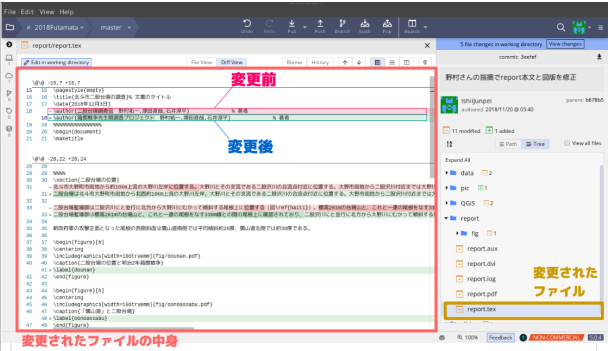
コマンドラインでの操作

```
## 他の人がアップロードした変更内容を取得
git pull
## デレクトリのすべてのファイルをリポジトリに登録
git add .
## 変更結果をローカルリポジトリにコミット
git commit -m 「〇〇年〇〇月〇〇日」
## 変更内容をアップロード
git push origin master
```

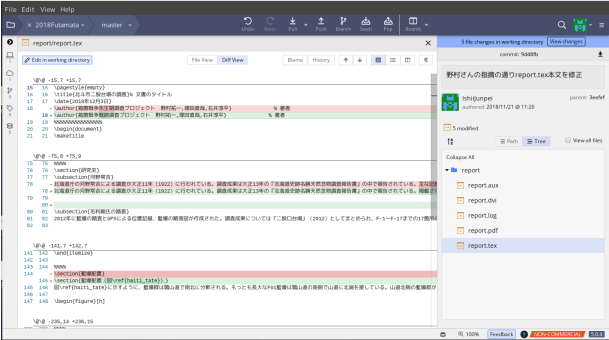
GITKRAKEN



GITKRAKEN



恥ずかしい修正履歴も残る



GITHUBで履歴とともに公開



GITHUBで履歴とともに公開



オープンデータとしての
考古学情報

- 調査の原記録
- 中間成果物

すべてのデータにアクセスできる環境の構築

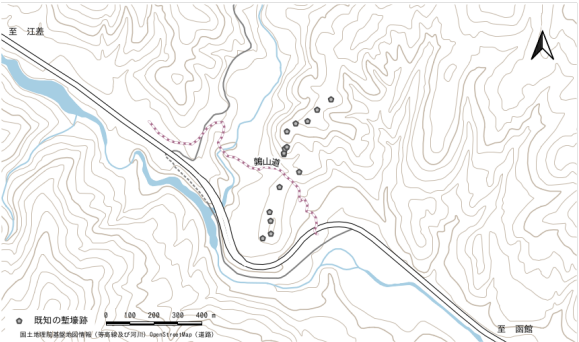
考古記録の自由な利用

- 生のデータの利用
- 考古学のフィルターのかからないデータ

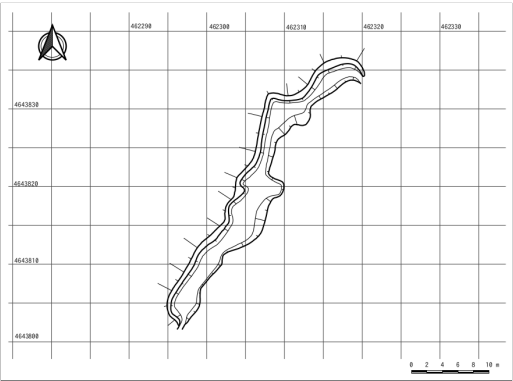
オープンな記録の作成

- 特定のソフトでしか開けない記録
- イラストソフトの弊害

CAD・GISの活用



CAD・GISの活用



ご清聴ありがとうございました。

- **再現可能性**
- 原データ・中間成果物へのアクセス
- **再利用可能性**
- 国土の**基本情報化**

```
dependencies: [ { src: 'reveal.js-2.6.1/plugin/markdown/marked.js', condition:
function() { return !!document.querySelector( '[data-markdown]' ); } }, { src:
'reveal.js-2.6.1/plugin/markdown/markdown.js', condition: function() { return
!!document.querySelector( '[data-markdown]' ); } } ]
```